

つばくろロボキッズ教室の中学生チームが プログラミングの全国大会で金賞受賞！

–さらに最優秀プレゼン賞も受賞し、2冠の快挙を達成しました–

燕市の「つばくろロボキッズ教室」で出会った中学2年生3名による「RSR」チームが、12月7日に開催された WRO 2025 Japan 決勝大会（オンライン）へ新潟地区代表として出場しました。大会では、競技部門で見事金賞を受賞する快挙を成し遂げ、さらに、ロボットの特徴や工夫を発表するプレゼンテーションにおいて最優秀プレゼン賞を受賞し、ダブル受賞の栄誉をつかみました。燕市は引き続き、未来を担う子どもたちの学びをサポートし、特色ある教育の推進に取り組んでまいります。

【WRO 2025 Japan 決勝大会の概要】

1. 参加者：全国の小・中・高校生 計31チーム
ジュニア部門には12チーム出場

2. 大会（ミドル競技）の内容：

自立走行型ロボットにプログラミングを行い、ミッションに挑戦しながら得点を競う。また、ロボットの特徴やミッション攻略のための工夫を発表する。

3. RSRチームの成績：

第1走：100点満点中80点、第2走：100点満点。

・得点が75点以上であったため、金賞受賞。

（RSRチームの他、4チームが金賞を受賞しました。）

・相互投票で選出される最優秀プレゼン賞受賞。



WRO 2025 Japan
決勝大会の様子

※「WRO (World Robot Olympiad)」は、自立型ロボットによる国際的なロボットコンテスト。世界中の子どもたちが、各自ロボットを製作し、プログラムにより自動制御する技術を競うほか、子どもたちの創造性と問題解決力の育成を目指しており、国際交流も行われている。

競技	部門
エキスパート	(略)
ミドル	エレメンタリー(8~12歳)
	ジュニア(11~15歳)
	シニア(14~19歳)

【つばくろロボキッズ教室の概要】

自立走行型ロボットを使い、児童生徒がパソコンでプログラミングを行いながら、ミッションを達成するために試行錯誤を繰り返す過程を通して、プログラミング的思考の習得を目指す。

1. 参加者：燕市内の小学3年生から中学2年生の希望者 22名

2. 指導者：長岡技術科学大学 湯川高志教授 他



本件についてのお問い合わせ先
燕市教育委員会学校教育課：岡田、武岡
電話：0256-77-8191（直通）